

シ必要ノ教授ヲ施スコトトシタリ而シテ前記砲術學校條例ノ公布ト共ニ
 海軍砲術練習所條例ハ之ヲ廢止セラレ現ニ海軍砲術練習所ニ在學セル砲
 術教員ト爲スヘキ練習生ハ之ヲ高等科練習生掌砲兵ト爲スヘキ練習生ハ
 之ヲ普通科練習生ト看做シ孰レモ新條例ニ從テ其教育ヲ施行シタリ
 今本年度ニ於ケル教育ノ狀況ヲ左ニ略述センニ各學生ノ就學シタル者ハ
 前年度ヨリノ者ヲ合セ二百九十四人此内疾病其他ヲ除キ終業シタル者二
 百一人ニシテ本年度末ニ於テ尙在學中ノ者總計九十二人トス
 次ニ各練習生ノ就學シタル者ハ前年度ヨリノ者ヲ合セ二千四百四十八人
 此内疾病其他ニ依リ退學シタル者ヲ除キ終業シタル者千六百一十一人ニシ
 テ本年度末ニ於テ尙在學中ノ者總計八百十三人ナリ
 而シテ本年度ニ終業シタル各科學生及高等科練習生中其成績ノ優等ナル
 第一期高等科學生第一期普通科學生第一期特修科學生及第三十二期砲術
 教員教程練習生第一期高等科練習生ノ各期一人ニ對シテハ四十年九月三
 十日卒業證書證狀授與式舉行ノ際孰レモ賞品ヲ下賜セラレタリ
 以上敘述シタルモノヲ一括シテ表示スレハ左ノ如シ

學生ノ部

種別	始業年月日	就學	終業	終業年月日	記事
第六期將校學生 (第一期普通科學生)	三十九年十二月三日	五八	五八	四十年四月十五日	
第二期普通科學生	四十年九月二日	六〇	六〇	四十年十二月十六日	
第三期普通科學生	四十一年一月十日	五七	五	練習中	
第一期高等科學生	四十年四月五日	四	四	四十年九月二十六日	一人修業中外國駐在被仰付
第二期高等科學生	四十年十月十日	三〇	三〇	四十年九月二十六日	
第一期特修科學生	四十年四月十六日	一	一	練習中	
第二期特修科學生	四十年十月十四日	二七	二七	四十年七月三十一日	
期外特修科學生	四十年十月十日	二	二	四十年七月三十一日	
第一期商船學校學生	四十年四月二十六日	二二	二二	四十年七月三十一日	
第二期商船學校學生	四十年十月三十日	二九	二〇	四十年二月二十一日	一人ノ卒業未済ハ疾病ノ爲
總計		二九四	二〇一		

練習生ノ部

種別	前年度		本年度		疾病其他	本年度末練習中
	就學	卒業	就學	卒業		
第三十二期教員教程	三九	三九	三九	三九		
第一期高等科	七〇	四〇	三七	六六		
第二期高等科		四八	四九	三七		
第三期高等科		五	五三	二		
總計						

種別	前年度		本年度就學		本年度終業		疾病其他	本年度未練習中
	就前年度	下士	卒	計	下士	卒		
第四期高等科								
第五期高等科								
第一期普通科		五七	五八	一一	二八	三〇六		七〇
第二期普通科	三三六				四二	一九四		
第三期普通科	三三七				一八三	三三六		
第四期普通科		一〇			二六二	二七二		
第五期普通科		一七			二八〇	一九六		
第六期普通科		一〇			二四〇	二四〇		
第一期普通科卒業補習者		一六			一四〇	一四〇		
第二期普通科卒業補習者		一八			一三九	一三九		
第三期普通科卒業補習者		七			七	一一三		
第四期普通科卒業補習者		一			二五	一一〇		
臨時講習員								
總計	六八二	二九二	一四七四	一七六六	三二五	二二八六	一六二二	八二三

其終業シタル下士卒及檢定試験及第者ニ授與シタル證書及證狀ノ別左ノ如シ

種別	砲術教員通任		一等掌砲		高等科一等		高等科二等		普通科一等		普通科二等	
	砲術狀	證書及一等掌	狀	狀	狀	狀	狀	狀	狀	狀	狀	狀
下士												
卒												
下士												
卒												
下士												
卒												
下士												
卒												
下士												
卒												
計												

種別	第三十二期教員教程		第一期高等科		第二期高等科		第三期高等科		第一期普通科		第二期普通科		第三期普通科		第四期普通科		證書及證狀再授與檢定試験及第者
	總計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
下士																	
卒																	
下士																	
卒																	
下士																	
卒																	
下士																	
卒																	
下士																	
卒																	
計																	

水雷學校

明治四十年四月勅令第三百三十六號ヲ以テ海軍水雷學校條例ヲ公布セラレ水雷學校ヲ以テ水雷術及通信術ヲ教授シ且ツ其改良進步ヲ圖ル所トシ同校ニ於テ修習スル准士官以上ヲ海軍水雷學校學生ト稱シ下士卒ヲ海軍水雷學校練習生ト稱ス學生ハ之ヲ普通科水雷術練習生高等科水雷術練習生特修科學生ノ三種ニ區別シ練習生ハ之ヲ普通科水雷術練習生高等科水雷術練習生普通科通信術練習生高等科通信術練習生ノ四種ニ區別シ各其教授ヲ行ヒ又海軍豫

備員及海軍豫備員志願者ニ對シ必要ノ教授ヲ施スコト、シ且ツ當分ノ間海軍工機學校條例ノ規定ヲ準用シ海軍機關佐尉官機關兵曹長及上等機關兵曹ニ電氣機關ニ關スル學術技藝ヲ教授シ又掌電機兵ヲモ養成スルコト、シタリ而シテ前記海軍水雷學校條例ノ公布ト共ニ海軍水雷術練習所條例ヲ廢止セラレ現ニ海軍水雷術練習所ニ在學セル水雷術教員ト爲スヘキ練習生ハ之ヲ普通科水雷術練習生ト看做シ孰レモ新條例ニ從ヒテ其教育ヲ施行シ且ツ現ニ在學セル水雷工ト爲スヘキ練習生ハ之ヲ普通科掌電機練習生ト看做シ機關學生ト共ニ孰レモ海軍工機學校條例ノ規定ヲ準用シ之カ教授ヲ行ヘ

今本年度ニ於ケル教育ノ狀況ヲ左ニ略述センニ各學生ノ就學シタル者ハ前年度ヨリノ者ヲ合セ二百五十七人此内疾病ヲ除キ卒業シタル者百二十九人ニシテ本年度末ニ於テ尙在學中ノ者總計百二十五人トス次ニ各練習生ノ就學シタル者ハ前年度ヨリノ者ヲ合セ七百九十一人此内疾病其他ニ依リ退學シタル者ヲ除キ終業シタル者七百二十人ニシテ本年度末ニ於テ尙在學中ノ者總計四百二十九人ナリ

而シテ本年度間ニ終業シタル各科學生及高等科水雷術練習生高等科通信術練習生中其成績ノ優等ナル第一期第二期高等科學生第二期普通科學生

第一期特修科學生第一期第二期第三期機關官學生第一期第三期特修科上等兵曹學生第一期特修科上等信號兵曹學生第一期第二期第三期高等科水雷術練習生第一期高等科通信術練習生第一期高等科掌電機練習生ノ各期一人ニ對シテハ四十一年四月二十日卒業證書證狀授與式舉行ノ際孰レモ賞品ヲ下賜セラレタリ

以上叙述シタルモノヲ一括シテ表示スレハ左ノ如シ

學生ノ部

種別	始業年月日	就學	終業	終業年月日	記	事
第一期高等科學生	四十年四月五日	六	六	四十年九月二十六日		
第二期高等科學生	全 年十月七日	五	五	練 習 中		
第一期普通科學生	全 年四月十七日	五九	五六	四十年七月三十一日		
第二期普通科學生	全 年十二月十七日	六〇	練 習 中			
第一期機關官學生	全 年四月十一日	一五	一五	四十年七月十日		
第二期機關官學生	全 年七月二十二日	一五	全	年十二月十日		
第三期機關官學生	四十一年一月十日	二五	練 習 中			
第一期特修科學生	四十年十月十一日	三〇	全			
第一期特修科上等兵曹學生	三十九年十二月八日	八	八	四十年五月八日		

二人ハ試驗全部ヲ終了セス一人ハ病氣ノ爲メ學生ヲ免セラレ

種別	始業年月日	就學終業	終業年月日	記	事
第二期特修科上等兵曹學生	四十年六月十四日	一〇	四十年十月十八日		
第三期特修科上等兵曹學生	全 年十二月九日	一二	四十一年三月二十六日		
第一期特修科上等信號兵曹學生	全 年一月十日	四	四十年六月二十一日		
第二期特修科上等信號兵曹學生	全 年七月一日	三	全 年十一月二十日		
第三期特修科上等信號兵曹學生	全 年十二月五日	練			
總計		二五七	一二九		

練習生ノ部

種別	前年度	本年度就學		本年度終業		編次	入期	前入期	其疾	他病	練
		下士	卒	下士	卒						
第一期高等科水雷術	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇						
第二期高等科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
第三期高等科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
第四期高等科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
第一期普通科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
第二期普通科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
第三期普通科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
第四期普通科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
第五期普通科水雷術	二〇	二九	二九	二八	二〇						
總計	二〇	二九	二九	二八	二〇						

其ノ終業シタル下士卒及檢定試験及第者ニ授與シタル證狀ノ別左ノ如シ

種別	高等科		普通科		高等科		普通科		計
	一	二	一	二	一	二	一	二	
第一期高等科水雷術	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二〇
第二期高等科水雷術	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二〇
第三期高等科水雷術	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二〇
第一期普通科水雷術	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
第二期普通科水雷術	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
第三期普通科水雷術	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
第四期普通科水雷術	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
第一期高等科掌電機	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
第二期普通科掌電機	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
第三期普通科掌電機	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
第四期普通科掌電機	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二〇
總計	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	四〇九	二二

種別	高等科		普通科		高等科		普通科		普通科		計
	下士	卒	下士	卒	下士	卒	下士	卒	下士	卒	
第二期普通科水雷術											一〇六
第三期普通科水雷術											一〇五
第四期普通科水雷術											一一五
第一期高等科通信術											一六
第一期普通科通信術											二六
第二期普通科通信術											三〇
第三期普通科通信術											三〇
第一期普通科掌電機											三五
第二期普通科掌電機											三五
證狀進等檢定試験及第者											二
總計	六七	一一	二〇	三四	四	六三	一四	一	四二	三二	六四
											九
											五
											七二二

工機學校

明治四十年四月勅令第三百三十七號ヲ以テ海軍工機學校條例ヲ公布セラレ
 工機學校ヲ以テ機關術其他ノ技術工藝ヲ教授シ且其改良進歩ヲ圖ル所ト
 シ同校ニ於テ修習スル准士官以上ヲ海軍工機學校學生ト稱シ下士卒ヲ海
 軍工機學校練習生ト稱ス練習生ハ之ヲ普通科掌電機練習生船匠練習生ノ六種
 生普通科掌電機練習生高等科掌電機練習生ノ二種ニ分テ之ヲ行フコトハセリ

ニ區別シテ各共教育ヲ行ヒ又海軍豫備員及海軍豫備員志願者ニ對シ必要
 ノ教授ヲ施スコトハシタリ而シテ前記海軍工機學校條例ノ公布ト共ニ海
 軍機關術練習所條例ヲ廢止セラレ現ニ海軍機關術練習所ニ在學セル機關
 術教員ト爲スヘキ練習生ハ之ヲ高等科掌電機練習生機關工術專科ノ實修ヲ
 爲スヘキ練習生及掌機兵ト爲スヘキ練習生ハ之ヲ普通科掌電機練習生船匠
 工ト爲スヘキ練習生ハ之ヲ船匠練習生ト見做シ孰レモ新條例ニ從テ其教
 育ヲ施シ而シテ機關官學生及普通科掌電機練習生ノ教育ハ當分ノ間共ニ
 工機學校條例ノ規定ヲ準用シ海軍水雷學校ニ於テ之ヲ行フコトハセリ
 今年度ニ於ケル教育ノ狀況ヲ左ニ略述センニ學生ノ就學シタル者十人
 ニシテ此内疾病差免ノ者一人ヲ除キ本年度末ニ於テ九人尙在學中ナリ次
 ニ各練習生ノ就學シタル者ハ前年度ヨリノ者ヲ合セ六百五十七人此内疾
 病其他ニ依リ退學シタル者ヲ除キ終業シタル者六百十人ニシテ本年度末
 ニ於テ尙在學中ノ者總計三十九人ナリ
 而シテ今年度間ニ於テ終業シタル高等科掌電機練習生中其成績ノ優等ナル
 第一期第二期高等科掌電機練習生ノ各期一人ニ對シテハ四十一年三月三十
 一日卒業證狀授與式舉行ノ際孰レモ賞品ヲ下賜セラレタリ

以上叙述シタルモノヲ一括シテ表示スレハ左ノ如シ

學生ノ部

種別	始業年月日	就學	終業	終業年月日	記	事
第一期准士官學生	四十年十二月六日	一〇	一〇	練習中	一人ハ疾病ノ爲メ退校	
計		一〇	一〇			

練習生ノ部

種別	前年度就學	本年度		疾病其他	本年度末練習中
		就學	終業		
第一期高等科掌機		二〇	二〇		
第二期高等科掌機		一九	一九		
第三期高等科掌機	九四	二〇	一九		
第一期普通科掌機		一〇〇	一〇〇		
第二期普通科掌機		七三	七〇		
第三期普通科掌機		一〇〇	九八		
第四期普通科掌機		三一	三〇		
計		四六六	四六六		

種別	計	一等級	二等級	計	横須賀	吳	佐世保	舞鶴
第二期掌機	二七			二七				
第三期掌機	四〇			四〇				
第一期掌機	二			二				
第二期船匠	一九			一九				
第三期船匠	一			一				
第四期船匠	一			一				
第二十四期掌機兵卒業補習者	七六			七六				
計	一九一			一九一				

其ノ卒業シタル下士卒ニ授與シタル證狀ノ等級ヲ種別スレハ左ノ如シ

種別	一等級	二等級	計	横須賀	吳	佐世保	舞鶴
普通科掌機證狀	三五二	一八	三七〇	九七	九一	一〇七	七五
高等科掌機證狀	五一		五九	一七	一八	一七	
掌工證狀	七〇		七〇	一九	一五	一九	
掌機證狀	一		一				
船匠證狀	二九	五	三四	一〇	六	七	
計	五〇三	三一	五三四	一四三	一三〇	一五一	一一〇

科目	部局	決算額	校									
			大學校	兵學校	機關學校	軍醫學校	經理學校	工機學校	水雷學校	砲術學校		
食料		71,000.00		1,200,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00	1,100,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
被服費		100,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
購買費		200,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
演習費		1,000,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
患者費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
療用品費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
藥劑費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
病室諸費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
傳染病消毒諸費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
艦營費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
艦營需品費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
艦營雜給費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
需品保管及運搬費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
雜費		500,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
備外國人諸給		1,000,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00
海軍學生		1,100,000.00		2,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	500,000.00	1,500,000.00	3,000,000.00	2,000,000.00	1,000,000.00

海軍各學生ノ前年度ヨリ繼續シ修學ノ者八十四人本年度ニ於テ採用シタル者三十二人トス其卒業シタル者ノ内中軍醫ニ任用セラレタル者十二人造船中技士ニ任用セラレタル者三人造兵中技士ニ任用セラレタル者一人中主計ニ任用セラレタル者四人少主計ニ任用セラレタル者七人他ノ四人ハ之ヲ免シタリ而シテ本年度末即チ四十一年三月三十一日現在修學中ノ者八十五人トス其人員並費用ノ種別ハ左ニ表示スルカ如シ

海軍學生人員並費用 明治四十年度

區別	末現員	本年度			一人一ケ年手當金	總人員費用合計
		採用	官	免除、死亡		
帝國軍醫學生	三	七	三		18,250.00	40,150.00
帝國藥劑學生	一	一			18,250.00	18,250.00
帝國造船學生	五	一	三		18,250.00	91,250.00
帝國造船兵學生	二	一			18,250.00	18,250.00
帝國造船學生	二	六	四	三	18,250.00	38,325.00
高等商業學校	二	六	七		18,250.00	43,800.00
總計	八	三三	三三	一	18,250.00	155,125.00
三十九年度	八	三三	三三	一	18,250.00	155,125.00

區別	本年度末現員	本年度任用	年度間免除、死亡	一人一ケ年手當金	總人員費用合計
三十八年度	八五	一八	一六	一五	一五五二・五〇
三十七年度	九八	三九	一四	一	一七八八・〇〇
三十六年度	七四	三二	一九	六	一三、四六八・〇〇

海軍造兵生徒

造兵生徒ノ前年度ヨリ繼續シ修學ノ者五人本年度ニ於テ採用シタル者五人トス其卒業シタル者ノ中技手ニ任用セラレタル者一人ニシテ本年度末即チ四十一年三月三十一日現在修學中ノ者九人トス其人員並費用ハ左表ノ如シ

海軍造兵生徒人員並費用

明治四十年度

名稱	本年度末現員	本年度任用	年度間免除、死亡	一人一ケ年手當金	總人員費用合計
造兵生徒	九	五	一	一五三・三〇	一、三七九・七〇
三十九年度	五	五	一	七六六・五〇	
三十八年度	三	三	三	四五九・九〇	
三十七年度	三	三	八	一八〇〇・〇〇	
三十六年度	三	八	八		

附記

商船學校

本校教育ノ事ハ前年度ニ異ル所ナシ茲ニ四十年度學生ノ出入ヲ敘述スルニ前年度末總員四百七十八人内航海科二百七十八人機關科二百人ニシテ其航海科ニ於テ入校六十四人卒業六十四人退校五人死亡四人機關科ニ於テ入校五十九人卒校三十人退校二人死亡一人トス即チ四十一年三月三十一日ノ現在員ハ四百九十五人ナリ其別左ノ如シ

航海科 二百六十九人
機關科 二百二十六人

其學生ノ實地練習ハ前年度ヨリ繼續シ横須賀海軍工廠工場ニ於テ修業シタル二十四人並ニ實習ノ爲メ來學シタル者二十一人修業證書ヲ得テ退場シタル者二十二人ニシテ本年度末尙修學中ニアル者二十三人トス吳海軍工廠工場ニ於テ修業シタル十五人並實習ノ爲メ來學シタル者十人修業證書ヲ得テ退場シタル者七人ニシテ本年度末尙修學中ニアル者十八人トス佐世保海軍工廠工場ニ於テ修業シタル三人並實修トシテ來學シタル者十人修業證書ヲ得テ退場シタル者二人中途退學シタル者一人ニシテ本年度

總計	所管兵種					前年度	本年度	計	本年度間 卒業 免役死亡其他	四十二年三月末日 練習中
	團計	兵種	海軍	陸軍	航空					
總計	計	木工練習生	信號練習生	五等主廚	五等看護	五等機工	五等機關兵			
二七六〇	五九八		二二	三三	一〇	一五	一七八			
九〇一九	一五六二	一六	七八	七九	二二	三三	四四一			
一一七七九	二一六〇	一六	九九	九二	三一	四七	六一九			
七二九八	一三二四		四〇	五九	二二	三一	三九六			
八九	一〇						二			
四三九二	八二六	一六	五九	三二	一〇	一六	三二二			

前表中ニ就キ各種卒業兵ノ累年對照ヲ表示スレハ左ノ如シ

卒業者累年統計

兵種	四十年	三十九年	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年	三十三年	三十二年	三十一年	三十年
五等水兵	三九六六	四四三七	四〇九五	二二七三	三二二四	二九九〇	二七〇四	二七八八	二〇九六	二三八五	
五等機關兵	二二五九	二二七四	二二九八	一三九五	一七七八	一三六四	一四三三	一六〇五	一〇四二	九八一	
五等木工	一五六	一三五	一〇五	四一	五四	八八	七三	四二	七六	八二	
木工練習生	三三					六七	三八	三五	七二	七七	

總計	筆記	信號練習生	五等軍樂生	軍樂特科練習生	軍樂普通科練習生	軍樂高等科練習生	五等主廚	五等看護	鍛冶練習生
七二九八		一七		六五		三七三	一七四		
七七八二		二二三		三三		三一一	二六〇		
七一四一	三五	一七八		一四		三三三	八四		
四二四一	一六	二二七		三三		二二二	四五		
五三六〇		一三五				一四三	六		
四九一〇		一四七	六	三一	一七	一五九	四一		
四七四三	二八	六二	四二	一一	四二	三六	一四七	二二七	
五〇九二		三九三				一二六	一〇四		
三六五三		五一		四〇		一八〇	九六		
三八五二		六四	四〇	一〇		一二七	五四	一五	

第十四 患者

明治四十年ノ海軍患者實數ハ通計三萬千八百八十八人トス之ヲ前年ノ二萬八千三百六十一人ニ對比スレハ二千七百二十七人ヲ増シ隨テ新患者ニ於テモ亦二千五百六十七人ヲ増セリ是レ本年ニ於テハ兵員ノ増加ニ伴フタルニ外ナラストス又兵員每千一日患者比例ハ艦船四〇六七横須賀鎮守府七四・九九吳鎮守府八九・一一佐世保鎮守府九四・七三舞鶴鎮守府九四・〇一旅順鎮守府五三・三七兵學校四六・四五機關學校八〇・九一其他二九・一一總計平均五八・〇七トス之ヲ前年ノ五九・五二ニ比スンハ一・四五ヲ減セリ而シテ其患者詳悉ノ狀況ニ至テハ別ニ海軍省醫務局第二十二次報告アルヲ以テ茲ニ之ヲ略セリ乃チ前年ニ亞キ左ニ新患者累年ノ對照ヲ表示ス

年次	兵員一日平均	新患	前年比	兵員每千一日患者比例	死亡	兵員千ニ付死亡比例
四十年	四〇、四二九	二九、四二三	増	二、五六七	一九一	四・七二
三十九年	三七、三八五	二六、八五六	減	三、七六〇	二七一	七・二五
三十八年	三九、九七九	三〇、六一六	減	二、四三〇	六三五	一・五八八
三十七年	三七、一八三	三三、〇四六	増	五、六六七	一、八三〇	四九・三三
三十六年	三一、五八三	二七、三七九	増	三、〇七四	一、五九九	五〇・三

年次	兵員		新患	前比シ年	兵員毎千日患者比例	死亡	兵員千ニ例付死亡比例
	一日平均	計					
三十五年	三〇、四四五	二四、三〇五	七五二	五五、八六	一五四	五〇六	
三十四年	二六、四六九	二二、五五三	一八五六	六〇、五四	一三六	五一四	
三十三年	二二、二九七	二一、六九七	二二、六二	六三、〇五	一〇七	四五九	
三十二年	一九、五四〇	一九、三三五	三七	六八、〇〇	一一八	六〇四	
三十一年	一八、四二六	一九、二九八	七五九二	六五、五〇	一二九	七〇〇	
總計	三〇、四七三六	二五、五〇八	六〇、三七〇	三、七三〇	三、七三〇	一〇、九九三	
平均	三〇、四七四	二五、五〇八	六〇、三七七	三、七三三	三、七三三	一〇、九九九	

(備考) 死亡中三十一人ハ宮川丸ノ溺死者(十一人)三十三人ハ戰死者(十二人)三十七人ハ戰死者(千六百六十二人)三十八人ハ戰死者(百十九人)三笠火災ノ際死亡者(三百四十九人)ヲ包含ス而シテ死亡中ニハ新舊患者ノ別ナク總テ之ヲ掲上セリ

此ヨリ横須賀吳佐世保舞鶴ノ四軍港及旅順ニ在ル病院並病院職員ヲ掲ケ次ニ各種患者ニ係ル所轄別、兵種別、傳染病兵種別、傳染病月別等ノ諸表ヲ列舉シ以テ其狀況ヲ示サン

海軍病院

明治四十年十二月三十一日現數

病院名	棟數	坪數		病室	病室容積立方尺	患者收容
		二階	平階			
横須賀海軍病院	七	一三三坪	九四八坪	三五	二八、三九三	二〇四

總計	吳海軍病院		佐世保海軍病院		舞鶴海軍病院		旅順海軍病院	
	棟數	坪數	棟數	坪數	棟數	坪數	棟數	坪數
三	一八、九〇五	四、二二五	六、一五五	二、一九	一、四七三	二、七三〇	二、七三〇	八、三三三
七	一、六九〇	八〇、九八三	一、五〇〇	四、四四八	四	三、九五三	三、六五二	二、五八
五	四、三二五	五、四二九	九、七五五	六、四四	五	三、九八八	五、〇四九	二、一四
八	三、三九二	三、八二七	七、一八三	一、一八七	五	一、八七四	五、六八	二、一四
七	三、一四二	一、五四二	一、八五六	九、五〇	三	二、六三六	二、六〇〇	二、五

病院官員及備

明治四十年十二月三十一日現員

官職	高		等		官		通計
	軍醫	軍醫	軍醫	軍醫	軍醫	軍醫	
總監	一	一	一	一	一	一	二
大監	一	一	一	一	一	一	二
中監	一	一	一	一	一	一	二
少監	一	一	一	一	一	一	二
大藥劑師	一	一	一	一	一	一	二
中藥劑師	一	一	一	一	一	一	二
少藥劑師	一	一	一	一	一	一	二
中藥劑師	一	一	一	一	一	一	二
少藥劑師	一	一	一	一	一	一	二
看護長	一	一	一	一	一	一	二
總計	一	一	一	一	一	一	二

轄所別		平均一日患者	治癒	止事故	死亡	免除	轉帶	殘留
院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外
津代								
剛島	一七三	一八	一三九	一	一	一	一	一
島	二五五	四一	一〇九	一	一	一	一	一
桑岐	二二三	一五	〇三二	一	一	一	一	一
遠羽	二六四	二二	〇七六	一	一	一	一	一
鎮	二九四	二二	〇七六	一	一	一	一	一
香	一九四	二七	一五九	一	一	一	一	一
對	二〇四	二二	四〇二	一	一	一	一	一
新	二九五	二九	四〇二	一	一	一	一	一
明	三〇一	四〇	五〇九	一	一	一	一	一
須	二二九	三九	五〇九	一	一	一	一	一
秋	二二四	四七	三九七	一	一	一	一	一
千	二八九	四八	三九七	一	一	一	一	一
和	二四七	四八	三九七	一	一	一	一	一
宗	九三	三二	二九〇	一	一	一	一	一
津	四一四	二八	二七九	一	一	一	一	一
千	四一〇	三九	二七九	一	一	一	一	一
笠	三六一	二八	二七九	一	一	一	一	一
橋	一〇	七四	一〇二	一	一	一	一	一
立	一〇	七四	一〇二	一	一	一	一	一
島	一〇	七四	一〇二	一	一	一	一	一

轄所別		平均一日患者	治癒	止事故	死亡	免除	轉帶	殘留
院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外
重								
山	一七〇	一三	〇四六	一	一	一	一	一
韓	一五九	一六	〇三九	一	一	一	一	一
豐	一二七	一七	〇三九	一	一	一	一	一
鈴	一五四	一六	〇三九	一	一	一	一	一
姉	一五八	一六	〇三九	一	一	一	一	一
滿	九八	九	〇〇八	一	一	一	一	一
千	一六七	五二	一七七	一	一	一	一	一
龍	四一	一一	〇六八	一	一	一	一	一
八	三八	八	〇四一	一	一	一	一	一
伏	八三	七	〇三三	一	一	一	一	一
隅	九五	八	〇三三	一	一	一	一	一
字	五六	八	〇三五	一	一	一	一	一
赤	八四	一五	〇五二	一	一	一	一	一
鳥	九四	九	〇四四	一	一	一	一	一
摩	九五	七	〇四一	一	一	一	一	一
磐	一四五	一六	〇七三	一	一	一	一	一
松	一五四	一七	〇三〇	一	一	一	一	一
高	一二七	一七	〇三九	一	一	一	一	一
武	一五九	一七	〇三九	一	一	一	一	一
大	一七〇	一三	〇四六	一	一	一	一	一
葛	一五〇	一三	〇四六	一	一	一	一	一
比	一五〇	一三	〇四六	一	一	一	一	一
彦	三五	七	〇三三	一	一	一	一	一
崎	一三七	四〇	一〇九	一	一	一	一	一
橋	一六一	二七	二〇三	一	一	一	一	一
谷	二二	三	〇一一	一	一	一	一	一
川	一四一	四三	二六四	一	一	一	一	一
州	一三〇	一六	〇一八	一	一	一	一	一
早	一〇〇	三三	〇五四	一	一	一	一	一
田	六一	一〇	〇八	一	一	一	一	一
山	一四九	九	〇〇八	一	一	一	一	一
見	二九	一一	〇六八	一	一	一	一	一
田	二四	八	〇四一	一	一	一	一	一
治	四八	七	〇三三	一	一	一	一	一
城	四三	八	〇三三	一	一	一	一	一
海	二六	八	〇三五	一	一	一	一	一
耶	八一	一五	〇五二	一	一	一	一	一
城	二五	九	〇四四	一	一	一	一	一
江	七五	七	〇四一	一	一	一	一	一
雄	九二	一六	〇七三	一	一	一	一	一
藏	九一	一六	〇三九	一	一	一	一	一
和	九一	一六	〇三九	一	一	一	一	一
城	六九	一六	〇三一	一	一	一	一	一
城	一五〇	一三	〇四六	一	一	一	一	一

所轄別	平均一日患者		合計		平均一日患者		治愈	事故	死亡	免除	轉帶患者	院外院內
	院外	院內	院外	院內	院外	院內						
第一驅逐隊	二二四	二二四	一四六	四七	八三九	二二二	一四二	一	一	一	二九	二
第二驅逐隊	二二六	二二六	一三〇	四三	八五四	二二九	一四二	一	一	一	三三	一
第三驅逐隊	二一〇	二一〇	一三五	四一	八三九	二二九	一四二	一	一	一	三三	一
第四驅逐隊	二二一	二二一	一五四	三七	八三六	二〇八	一六五	一	一	一	一〇	一
第五驅逐隊	二二四	二二四	一六一	三七	八三六	二〇八	一六五	一	一	一	一〇	一
第六驅逐隊	二〇九	二〇九	一三八	四二	八三八	二〇三	一三二	一	一	一	三九	一
第七驅逐隊	一五六	一五六	一七一	三七	八三六	二〇八	一六五	一	一	一	一〇	一
第八驅逐隊	二二六	二二六	一六一	三七	八三六	二〇八	一六五	一	一	一	一〇	一
第九驅逐隊	二二一	二二一	一五四	三七	八三六	二〇八	一六五	一	一	一	一〇	一
第十驅逐隊	二〇三	二〇三	一三三	四二	八三六	二〇三	一三二	一	一	一	二八	一
第十一驅逐隊	一九五	一九五	一三〇	四二	八三六	二〇三	一三二	一	一	一	二八	一
第十三驅逐隊	二二六	二二六	一六一	三七	八三六	二〇八	一六五	一	一	一	一〇	一
第十四驅逐隊	二二六	二二六	一六一	三七	八三六	二〇八	一六五	一	一	一	一〇	一
第一潛水艇隊	六六	六六	一〇六	一〇	一六八	一〇九	一〇九	一	一	一	一	一
第二潛水艇隊	二四	二四	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
三十號水雷艇	四九	四九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
橫須賀水雷團艇隊	二九六	二九六	一七五	五五	一〇九六	二七〇	一〇九六	一	一	一	一	一
吳水雷團艇隊	二二	二二	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
佐世保水雷團艇隊	二九七	二九七	一七五	五五	一〇九六	二七〇	一〇九六	一	一	一	一	一
舞鶴水雷團艇隊	一五五	一五五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一

所轄別	平均一日患者		合計		平均一日患者		治愈	事故	死亡	免除	轉帶患者	院外院內
	院外	院內	院外	院內	院外	院內						
竹敷要港部艇隊	二八五	二八五	一七五	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
旅順艇隊	一七七	一七七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
關東丸	一一〇	一一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
橫須賀海兵團	二六四	二六四	一六六	九八	一〇九八	二七〇	一〇九八	一	一	一	一	一
橫須賀港務部	一一五	一一五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
橫須賀豫備艦部	一六	一六	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
橫須賀海軍病院	八七	八七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
砲術學校	一〇三三	一〇三三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
水雷學校	七三三	七三三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
工機學校	三六〇	三六〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
橫須賀水雷團	三三九	三三九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
大湊要港部	三二七	三二七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
橫須賀海軍監獄	六〇	六〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
吳海兵團	二二三	二二三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
吳港務部	八五	八五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
吳豫備艦部	一〇一	一〇一	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
吳海軍病院	一六	一六	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
吳水雷團	二七三	二七三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
煉炭製造所	六	六	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
吳海軍監獄	七	七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
佐世保海兵團	二四九五	二四九五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一
佐世保港務部	一三四	一三四	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一

所轄別	平均一日兵員		舊患		新患		合計		一日平均患者		治癒		事故		死亡		免除		轉帶		殘留	
	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內
佐世保豫備艦部	15	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
佐世保海軍病院	116	116	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
馬公要港部	262	262	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
竹敷要港部	235	235	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
鎮海防備隊	454	454	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
永興防備隊	109	109	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
佐世保海軍監獄	60	60	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
舞鶴海兵團	195	195	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
舞鶴豫備艦部	89	89	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
舞鶴海軍病院	76	76	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
舞鶴水雷團	177	177	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
舞鶴海軍監獄	20	20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旅順港務部	199	199	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旅順海軍病院	39	39	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旅順敷設隊	364	364	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旅順工作部	14	14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旅順工作部大連支部	94	94	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旅順海軍監獄	7	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

病類	舊患		新患		合計		受療日數		平均一日患者		治癒		事故		死亡		免除		殘留		
	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	院外	院內	
全身病	29	29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
神經系病	5	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
呼吸器病	5	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
循環器病	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
榮養器病	8	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
泌尿器及生殖器病	8	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
花柳病	110	110	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
眼病及眼外傷	7	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
耳病及耳外傷	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

患者病類別

明治四十年

(備考) 本表ノ平均一日兵員欄ニハ就役開全一年ニ亙ラサル艦船陸隊ニ於テモ其一日平均數ヲ掲グルカ故ニ兵員總數ノ一日平均數ヲ示シタル總計ト符合セス又本表中院內舊患欄ニ括弧内ノ數ハ院外舊患者ニシテ本年入院ノ者ヲ示ス故ニ其數ハ虛數ナリ仍テ總計ニハ算入セス次ノ二表モ亦之ニ同シ

病類	舊患		新患		合計	受療日數		平均一日患者	治療	事故	死亡	免除	殘留
	院外	院内	院外	院内		院外	院内						
總計	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇	八六九
外傷	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
運動器	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
外傷	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
爾餘ノ傷病	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

(備考) 本表中爾餘ノ傷病欄内ニハ溺水、其他不慮ノ傷病、自企的傷病及自殺等ヲ含有ス患者病類兵種別表及患者月別表モ之ニ同シ

患者兵種別 明治四十年

兵種	平均一日患者	舊患		新患		合計	平均一日患者	治療	事故	死亡	免除	殘留
		院外	院内	院外	院内							
總計	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇
生徒	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇
下士	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇
卒	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇
備人	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇
四	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇
總計	七九六	八六九	三三三	五九六	二四三〇	五九六	三三三	五九六	二四三〇	一〇	一〇	一〇

(備考) 本表ノ患者數ト患者所轄別表及患者病類別表ノ患者數ト差異アルハ患者所轄別表ニ在テハ受療中所轄ヲ轉スル者ヲ更ニ一人トシテ掲ケルヲ以テ一患者ニシテ二人或ハ三人トナルニ由リ其數

患者病類兵種別 明治四十年

病類	類	生徒	下士	卒	備人	四	人	人	合計
全身病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
神經系病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
呼吸器病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
循環器病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
榮養器病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
泌尿器及生殖器病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
花柳病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
眼病及眼外傷	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
耳病及耳外傷	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
外傷	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
運動器病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
外傷	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
爾餘ノ傷病	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一
總計	死患者	一	一	一	一	一	一	一	一

ナ増加シ患者病類別表ニ在テハ甲病ヨリ乙病ニ轉スル者ヲ二人トシテ掲ケルヲ以テ同ク其數ヲ増加セリ又本表ノ新患者數ト次ノ二表ノ患者數ト差異アルハ次ノ二表ニ在テハ患者病類別表ノ如ク甲病ヨリ乙病ニ轉スル者ヲ二人トシテ掲ケルニ由ル

病名	傳染病兵種別													
	總計	爾餘ノ傷病	外傷	運動器病	外被病	耳病及耳外傷	眼病及眼外傷	花柳病	泌尿器及生殖器病	榮養器病	循環器病	呼吸器病	神經系病	全身病
死發亡病	三〇四三	六六	三九六	三五	二五四	二二	二六	八三三	二四	六七	二〇	二六	二八	三七六
生徒下士卒備人四入合計	三三三三	四八	五〇九	三二	三三〇	二五	七五	五六二	二二	四七	六	一七	一四	一四九
一月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十一月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十二月	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	三三三三	四八	五〇九	三二	三三〇	二五	七五	五六二	二二	四七	六	一七	一四	一四九

(備考) 本表及次表ニ在テハ全身病類中傳染病ノ重ナル者ノミヲ掲載ス

傳染病月別 明治四十年

病名	傳染病月別																
	總計	虎列刺	赤痢	腸窒扶斯	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
死發亡病	三三																三三
生徒下士卒備人四入合計	二二																二二
一月	二二																二二
二月	二二																二二
三月	二二																二二
四月	二二																二二
五月	二二																二二
六月	二二																二二
七月	二二																二二
八月	二二																二二
九月	二二																二二
十月	二二																二二
十一月	二二																二二
十二月	二二																二二
合計	三三																三三

下士卒入院患者 明治四十年十二月三十一日調

區別	兵種		舊患	新患	計	治癒	止事療故	脫院	轉院	死亡	免除	殘留
	卒	下士										
橫須賀海軍病院	二二	四四	二二	二九	一六三	二二	一	二	二	三	一	一五六
合計	二二	四四	二二	二九	一六三	二二	一	二	二	三	一	一五六

又本年間ニ於ケル下士卒ノ患者ヲ各病院ニ區別スレハ左ノ如シ

區別	兵種		計	治癒	止事療故	脫院	轉院	死亡	免除	殘留
	卒	下士								
吳海軍病院	二四二	二八二	三〇六	二二七			一六	一三	二二	二九
佐世保海軍病院	一四二	一四八	一五六〇	一六三			九六	二七	八五	一八三
舞鶴海軍病院	一六六	一五二	一四一八	一〇八五				一五	一三八	一七九
旅順海軍病院	一三三	一〇五	一一二	九〇				六	一五	一四
竹敷要港部病室	一七一	四二	五三	四四八				一	六	九八
大湊要港部病室	二二	一九四	二一五	一五七				二	一六	二
馬公要港部病室	五	一七	一九	一四				一	一	〇
部外病院	七	八〇	八七	六九				九		五
總計	八三〇	六、一四〇	六、九七〇	五、三四三	三	四	一八三	一三二	五三二	七八四
三十九年	八二四	五、一四九	五、九七三	四、二六九	一	四	一一四	一三八	六一七	八三〇
三十八年	六九〇	八、二一三	八、九〇三	四、八五一	一		二、三九八	二二二	六〇六	八二四

上來舉示シタル諸表ニ於テ尙ホ盡ササル所アルヲ以テ其數項ヲ左ニ叙述セシ

本年ノ平均一日兵員ハ四萬四百二十九人ニシテ前年ノ三萬七千三百八十五人ニ比シ三千四十四人ヲ増加セリ其總數ヲ兵種ニ區分スレハ生徒七九人下士水兵部四、二六九人機關部二、五七七人其他一、八七人卒水兵部一、八四一〇人機關部九、八〇〇人其他二、四三三人備人七三六人囚人二一八人トス而シテ本年ニ於ケル患者狀況ヲ述フルニ患者數及受療日數ハ前年及前十ケ年ノ平均ニ對シ増加ヲ見ルモ是レ兵員ノ増加ニ伴フ所ニシテ兵員數トノ比例ニ於テハ概ネ減少ヲ示シ唯病症數及入院患者數ノ兵員每千比例ニ於テ僅ニ増加スルノミ其詳細ハ逐次左ニ記載スルカ如シ

病症數ハ新舊合セテ三萬三千八百八十八此患者實數ハニシテ前年ノ二萬八千五百四十一因ハ傷者ノ殘留ヲ除クニ比シ二千八百四十七増加ス其兵員每千比例ハ七、七六、三七ニ當リ前年ニ比シ一二、九四ヲ増シ前十ケ年ノ平均ニ比シ一〇、八、八、三ヲ減セリ

受療日數ハ八十五萬六千九百五十三日ニシテ前年ノ八十萬八千二百十三日戰闘負傷者及三笠編ニ比スレハ四萬八千七百四十日ヲ増加ス其兵員每千比例ハ五、八〇、七ニ當リ前年ニ比シ一一、六ヲ減シ前十ケ年ノ平均ニ比シ〇、七一ヲ減セリ

治愈ハ二萬七千百十七人ニシテ病症毎千比例ハ八六三・九三ニ當リ前年ニ
 比シ一四・二三ヲ増シ前十年ノ平均ニ比シ二七・八四ヲ減セリ
 止療ハ千九百三十六人ニシテ病症毎千比例ハ六一・六八ニ當リ前年ニ比シ
 ○二八ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ二六・二四ヲ増セリ
 死亡ハ百九十一人ニシテ前年ニ比シ八十八人ヲ減シ其病症毎千比例ハ六・〇
 九ニシテ前年ニ比シ三・三九ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ〇・〇二ヲ増ス其
 兵員毎千比例ハ四・七二ニシテ前年ヨリ減スルコト二・五三、前十年ノ平均
 ヨリ減スルコト〇・六五ナリ而シテ其總數ヲ傷病等ニ區別スレハ疾病百十
 五人外傷三十六人溺水三十六人自殺三十人他殺三人ニシテ其兵員毎千比
 例ハ疾病ニ因ル者二・八五外傷ニ因ル者〇・八九溺水ニ因ル者〇・一七自殺ニ
 因ル者〇・七四他殺ニ因ル者〇・〇七ニ當レリ
 免除ハ五百三十三人ニシテ前年ニ比シ五十人ヲ減シ其病症毎千比例ハ一
 六・九八ニシテ前年ニ比シ三・四五ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ〇・三九ヲ増
 ス其兵員毎千比例ハ一・三一八ニ當リ前年ニ比シ減スルコト二・四一前十年
 年ノ平均ニ比シ減スルコト一・五〇ナリ而シテ其總數ヲ傷病ニ區別スレハ
 疾病四百七十二人外傷六十人自企的外傷一人ニシテ其兵員毎千比例ハ疾
 病ニ因ル者一・六七外傷ニ因ル者一・四八自企的外傷ニ因ル者〇・〇三ニ當
 レリ

殘留ハ千六百十一人ニシテ前年ニ比シ五十四人ヲ減シ其病症毎千比例ハ
 五・三二ニ當リ前年ニ比シ六・九三ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ二・〇四ヲ
 減セリ又兵員毎千比例ハ三・九八五ニ當リ前年ニ比シ四・六九ヲ減シ前十年
 年ノ平均ニ比シ四・〇九ヲ増セリ
 入院患者ハ實數六千五百三十人病症數ハ六千三百三十症ニシテ前年ニ比シ六百七十
 八人ヲ増シ前十年ノ平均ニ比シ一四・四六ヲ増セリ
 入院日數ハ三十三萬八百二十二日ニシテ前年ニ比シ三千四百六十六日ヲ
 増シ平均一患者ニ付五十日六六ニ當リ前年ニ比シ四日五二ヲ減シ前十年
 年ノ平均ニ比シ一日六三ヲ増セリ
 平均一日在院患者ハ九百六人三六ニシテ兵員毎千比例ハ二十二・四二ニ
 當リ前年ニ比スレハ一人二八ヲ減シ前十年ノ平均ニ比スレハ二人四〇
 ヲ増セリ
 本年ノ患者費ハ横須賀、吳、佐世保、舞鶴、旅順ノ五海軍病院ニ在テハ患者費、糧
 食費及被服費ヲ合計シタルモノニシテ其總額貳拾八萬參千參百八拾參圓
 七拾壹錢參厘ナリ之ヲ入院患者延數總計三十四萬二千七百十二人(准士官
 以上下士以下職工等及部外者)ニ對照シ患者一人一日ノ平均費額ヲ算スレ

治癒ハ二萬七千百十七人ニシテ病症毎千比例ハ八六三・九三ニ當リ前年ニ比シ一四・二三ヲ増シ前十年ノ平均ニ比シ二七・八四ヲ減セリ
 止療ハ千九百三十六人ニシテ病症毎千比例ハ六一・六八ニ當リ前年ニ比シ〇・二八ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ二六・二四ヲ増セリ
 死亡ハ百九十一人ニシテ前年ニ比シ八十八人ヲ減シ其病症毎千比例ハ六・〇九ニシテ前年ニ比シ三・三九ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ〇・〇二ヲ増ス其兵員毎千比例ハ四・七二ニシテ前年ヨリ減スルコト二・五三前十年ノ平均ヨリ減スルコト〇・六五ナリ而シテ其總數ヲ傷病等ニ區別スレハ疾病百十五人外傷三十六人溺水三十六人自殺三十人他殺三人ニシテ其兵員毎千比例ハ疾病ニ因ル者二・八五外傷ニ因ル者〇・八九溺水ニ因ル者〇・一七自殺ニ因ル者〇・七四他殺ニ因ル者〇・〇七ニ當レリ
 免除ハ五百三十三人ニシテ前年ニ比シ五十人ヲ減シ其病症毎千比例ハ一六・九八ニシテ前年ニ比シ三・四五ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ〇・三九ヲ増ス其兵員毎千比例ハ一・三一八ニ當リ前年ニ比シ減スルコト二・四一前十年ノ平均ニ比シ減スルコト一・五〇ナリ而シテ其總數ヲ傷病ニ區別スレハ疾病四百七十二人外傷六十人自企的外傷一人ニシテ其兵員毎千比例ハ疾病ニ因ル者一・六七外傷ニ因ル者一・四八自企的外傷ニ因ル者〇・〇三ニ當レリ

殘留ハ千六百十一人ニシテ前年ニ比シ五十四人ヲ減シ其病症毎千比例ハ五・三二ニ當リ前年ニ比シ六・九三ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ二・〇四ヲ減セリ又兵員毎千比例ハ三・九八五ニ當リ前年ニ比シ四・六九ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ四・〇九ヲ増セリ
 入院患者ハ實數六千五百三十人病症數ハ六千三百三十三症ニシテ前年ニ比シ六百七十八人ヲ増シ前十年ノ平均ニ比シ一四・四六ヲ増セリ
 入院日數ハ三十三萬八百二十二日ニシテ前年ニ比シ三千四百六十六日ヲ増シ平均一患者ニ付五十日六六ニ當リ前年ニ比シ四日五二ヲ減シ前十年ノ平均ニ比シ一日六三ヲ増セリ
 當リ前年ニ比スレハ一人二八ヲ減シ前十年ノ平均ニ比スレハ二人四〇ヲ増セリ

本年ノ患者費ハ横須賀、吳、佐世保、舞鶴、旅順ノ五海軍病院ニ在テハ患者費、糧食費及被服費ヲ合計シタルモノニシテ其總額貳拾八萬參千參百八拾參圓七拾壹錢參厘ナリ之ヲ入院患者延數總計三十四萬二千七百十二人(准士官以上下士以下職工等及部外者)ニ對照シ患者一人一日ノ平均費額ヲ算スレ

ハ八拾貳錢六厘八ト爲ル尙ホ各病院ニ於ケル入院患者費用歩合等ヲ表示スレハ左ノ如シ

入院患者費用歩合

病院名	入院患者延數	患者費	被服食費及	費用合計	入院患者一人一日費用
横須賀海軍病院	九六、九四一	三七、四二一、八〇〇	五四、四六九、一九四	九一、八九一、三七四	〇、九四七
吳海軍病院	九七、三三三	二九、六八八、六六八	四〇、三八〇、四〇四	七〇、〇六九、〇七二	〇、七一九
佐世保海軍病院	八二、〇〇六	二七、六三六、四八六	二八、五三一、五〇五	五六、一六七、九九一	〇、六八四
舞鶴海軍病院	四七、八〇九	二四、二〇八、六七〇	二二、八一五、三三六	三七、〇二四、〇〇六	〇、七七四
旅順海軍病院	一八、六二三	一九、八四八、八六九	八、三八二、四〇一	二八、六三一、二七〇	一、五一一
合計	三三二、七二二	一三八、八〇四、八七三	一四四、五七八、八四〇	二八三、三八三、七三三	〇、八二六

又患者直接ノ費用即チ藥品及消耗療用品費ノ金額ハ總計九萬參千參百三圓參拾參錢七厘ニシテ前年ニ比スレハ増スコト四千七十七圓七拾六錢貳厘ナリ此總額ヲ藥品及消耗療用品ニ區別スレハ藥品費四萬貳千四百貳拾貳圓五拾壹錢ニシテ前年ヨリ増スコト貳千九百四拾壹圓四拾參錢七厘消耗療用品費ハ五萬六百拾圓八拾貳錢七厘ニシテ前年ヨリ増スコト千百參

拾六圓參拾貳錢五厘ナリ而シテ受診患者每一人一日消費金額ハ藥品費ニ於テ貳錢貳厘五貳消耗療用品費ニ於テ貳錢六厘八六トナル又賣却亡失毀損若ハ給與患者歸ニ係ル治療品ハ殆ント定備療用品ノミニシテ之ヲ元價ニテ計算スレハ合計壹萬千參百參拾參圓參拾參錢七厘ト爲ル之ヲ各鎮守府所管ニ區別スレハ横須賀ニ在テハ參千參百拾六圓五拾七錢壹厘吳ニ在テハ貳千五百參拾參圓五錢參厘佐世保ニ在テハ參千九拾五圓拾四錢七厘舞鶴ニ在テハ千參百六拾五圓四拾參錢八厘旅順ニ在テハ千貳拾參圓拾錢八厘ナリ尙ホ消費セシ藥品及消耗療用品ノ品種數量金額ノ區別ハ頗ル繁細ニ涉リ通覽ニ便ナラサルヲ以テ之ヲ略シ左ノ一表ニ舉示ス

藥品消耗療用品費

區別	消費金額	受診者一人一日消費金額平均		
		三十九年	三十八年	三十七年
藥品費	四二、四三三、五一〇	二、二五二	二、二二七	二、六〇六
消耗療用品費	五〇、六一〇、八二七	二、六八六	二、九二七	二、八七二
總計	九三、〇四四、三三七	二、四六九	二、六二二	二、六〇五

第十五 刑罰

明治四十年七月勅令第二百五十七號ヲ以テ陸軍刑法海軍刑法ヲ樞太ニ施行セラル

明治四十年ノ刑罰狀況ヲ叙述スルニ其處理件數ハ六百八十九件人員ハ七百五十六人ニシテ前年ニ比視スレハ件數ニ於テ百四十六件人員ニ於テ百四十三人ヲ増加セリ而シテ其犯罪者總數ハ六百二十九人ニシテ前年ニ對照スレハ百七十二人ヲ増加セリ隨テ平均人員ニ對スル百分比例ノ結果ニ徴スルモ三分ノ増加ヲ呈セリ即チ茲ニ先ツ最近十年ノ統計ヲ對觀シ以テ其趨勢ノ如何ヲ示シ其他各種ノ犯罪ハ逐次左ニ表載スルカ如シ

軍人軍屬行刑人員累年對照

年次	平均人員	行刑人員	人員百ニ付比例
四十年	四九六三三	六二九	一・二七
三十九年	四六九三五	四五七	〇・九七
三十八年	四四、一一四	三四三	〇・七八
三十七年	四一、〇七〇	三一四	〇・七六

年次	平均人員	行刑人員	人員百ニ付比例
三十七年	三八、四五四	六八一	一、七七
三十八年	三六、五二一	九一七	二、五一
三十九年	三三、七〇〇	六〇七	一、八〇
四十年	二九、八七九	五四三	一、八二
四十一年	二五、七一一	四七五	一、八五
四十二年	二三、四二七	五一三	二、一九

(備考) 三十七年三十八年三十九年行刑人員中常人ハ之ヲ除ケリ

軍法會議官員及備

明治四十年十二月三十一日現員

官職	東京軍法會議	橫須賀鎮守府軍法會議	吳鎮守府軍法會議	佐世保鎮守府軍法會議	舞鶴鎮守府軍法會議	旅順鎮守府軍法會議	通計
官長	△	△	△	△	△	△	△
判士	△	△	△	△	△	△	△
判士佐官	△	△	△	△	△	△	△
主理並試尉	△	△	△	△	△	△	△
錄事補官	△	△	△	△	△	△	△
警備員	△	△	△	△	△	△	△
總計	△	△	△	△	△	△	△

軍法會議處理件數及人員

明治四十年分

年次	件數	人員
三十八年	△	△
三十九年	△	△

(備考) 表中△ハ兼務ヲ示ス

區別	前年より越高		新規		既決		未決	
	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員
東京軍法會議	輕罪	一	七	一	八	一	一	一
橫須賀鎮守府軍法會議	輕罪	二五	一六六	一七六	一九二	一八二	一六	一九
	重罪	一	五	一	一	一	一	二
吳鎮守府軍法會議	輕罪	二六	一九五	二〇七	二二二	二〇五	二四	二四
	重罪	一	三	一	一	一	一	一
佐世保鎮守府軍法會議	輕罪	四	四	四	八	九	一	一
	重罪	一五	一五〇	一六三	一六五	一五〇	一六三	一五
舞鶴鎮守府軍法會議	輕罪	一	一	一	一	一	一	一
	重罪	一	一	一	一	一	一	一
旅順鎮守府軍法會議	輕罪	二	二	二	二	二	二	二
	重罪	一	一	一	一	一	一	一
總計	八五	九九	六〇四	六五七	六八九	七五六	六二六	六八九

區 別		前年より越高	新 規	計	既 決	未 決
三 十 八 年	三 十 九 年	件數 人員	件數 人員	件數 人員	件數 人員	件數 人員
三 十 八	三 十 九	四三 五〇	四二二 四六一	四六四 五二一	三七一 四五六	四〇七 八九
		九三 一〇三	四五二 五〇〇	五四三 六一三	四五八 五二四	八五 九九
		一〇三 一〇三	五〇 五〇	六二 六二	五五 五五	一〇三 一〇三

(備考) 横須賀軍法會議既決中一件一人ハ無罪七件十人ハ免訴三件三人ハ消滅ノモノ
 吳軍法會議既決中四件四人ハ重罪ニ決シタルモノ重罪既決人員中十二人ハ免訴六人
 ハ消滅一人ハ管轄違ヒ三人ハ他管ニ送致セリ○佐世保軍法會議重罪ノ内二件二人ハ
 輕罪ニ決シタルモノ輕罪既決中六件十一人ハ免訴一件一人ハ消滅一件一人ハ無罪三
 人ハ管轄違ヒ一件一人ハ違警罪ニ決シタルモノ○舞鶴軍法會議既決中三件四人
 ハ免訴三件三人ハ消滅ノモノ○旅順軍法會議既決中一件一人ハ免訴ノモノナリ

前表中高等軍法會議ニ於テ再審シタルモノ左ノ如シ

原判決ヲ取消シ輕減シタルモノ
 件數 一人 員 一

軍人軍屬犯者罪狀及刑名
 明治四十年

刑 罪		三 十 八 年	三 十 九 年	總 計
故 殺	未 遂			
強 盜	未 遂			
偽 造	紙 幣 行 使			
放 火	未 遂			
官 印	偽 造			
監 守	盜 劫			
毆 打	致 死			
官 文 書	偽 造 行 使			
財 官 文 書	偽 造 行 使 詐 欺 取 財			
電 信 法	違 犯			
諸 法 規 則				
海 軍	逃 亡			
軍 罪	發 艦 ノ 期 ニ 後			
刑 罪	歸 著 ノ 期 ニ 後			
法 刑	自 傷 免 役 ヲ 圖 ル			
禁 錮	重 禁 錮			
通 計		二	六	三

刑名	輕罪計	違警科	總計	軍人		常人	
				上長官士官	准士官下士官卒	判任官判任待遇雇員備人	計
三十八年	三	一	四	三	一	二	三
三十九年	一	三	四	三	一	二	三
總計	三〇	三五	六二	五八	五二	五八	六一
刑名	計	料留	計	計	計	計	計
三十八年	三	一	四	三	一	二	三
三十九年	一	三	四	三	一	二	三
總計	三〇	三五	六二	五八	五二	五八	六一

軍人軍屬行刑比例

明治四十年

官職	平均人員		行刑人員		人員百ニ付比例
	人員	刑人員	人員	刑人員	
將官及總監	七〇	七	一	一	〇・一九
上長官	七五六	七	一	一	〇・二八
士官	二二二七	二三四	一	一	〇・七七
候補士官	一〇五九	八〇七〇	一	一	〇・七四
准士官	三〇七三八	七九九	一	一	〇・二八
下士官	八〇七〇	四三三五	一	一	〇・二八
卒徒	七九九	四三三五	一	一	〇・二八
總計	四三三五	四三三五	一	一	〇・二八

前表中ニ就キ更ニ犯罪者總員ニ對スル百分比例ヲ舉示スレハ左ノ如シ

區別	軍人軍屬犯罪者年齡別		總計
	明治四十年	明治四十年	
區別	十二年以上	十六年以上	二十年以上
軍人	一九八	一八三	三八一
軍屬	八七	六三	一五〇
總計	二八五	二四六	五三一
區別	二十五年以上	三十年以上	四十年以上
軍人	一八八	一五五	三四三
軍屬	八七	六三	一五〇
總計	二七五	二一八	四九三
區別	三十五年以上	四十年以上	五十年以上
軍人	一八八	一五五	三四三
軍屬	八七	六三	一五〇
總計	二七五	二一八	四九三
總計	五七八〇	四九六三三	四六、九三五
總計	五七八〇	四九六三三	四六、九三五

年齡別	四十年	三十九年	三十八年	三十七年	三十六年
二十歲未滿	七四七	一一六三	六六三	六〇二	七六四
二十歲以上卅歲未滿	八六九六	八三五二	八一四九	八一三六	八五四六
卅歲以上四十歲未滿	五〇九	四二二	一〇五〇	一〇八四	六四六
四十歲以上	〇四八	〇六三	一三四	一八一	〇四四

軍人軍屬處刑者罪數

明治四十年分

罪狀	俱發					合計
	一罪	二罪	三罪	四罪	五罪以上	
持兇器上官ニ對シ暴行	二	二	二	二	二	一〇
逃亡	一八三	二二	三	六	四	二二七
發艦ノ期ニ後ル	二	二	二	二	二	一〇
歸著ノ期ニ後ル	二	二	二	二	二	一〇
自傷免役ヲ圖ル	二	二	二	二	二	一〇
疾病作為免役ヲ圖ル	二	二	二	二	二	一〇
上官ヲ侮辱ス	二	二	二	二	二	一〇
官給品棄毀	二	二	二	二	二	一〇
守兵守所ヲ離ル	二	二	二	二	二	一〇
擅ニ滞在地下離ル	二	二	二	二	二	一〇
抗命	二	二	二	二	二	一〇
禁令違犯	二	二	二	二	二	一〇

刑罰		法	
強盜	一	強盜	一
強盜未遂	一	強盜未遂	一
故殺	一	故殺	一
強盜	一	強盜	一
偽造紙幣行使	一	偽造紙幣行使	一
放火未遂	一	放火未遂	一
官印偽造	一	官印偽造	一
竊盜	一	竊盜	一
監守	一	監守	一
詐欺	一	詐欺	一
毆打	一	毆打	一
毆打致死	一	毆打致死	一
過失創傷	一	過失創傷	一
委託金費消	一	委託金費消	一
官文書偽造行使	一	官文書偽造行使	一
官文書偽造行使詐欺	一	官文書偽造行使詐欺	一
取財盜用官文書偽造	一	取財盜用官文書偽造	一
私印偽造行使	一	私印偽造行使	一
私印盜用	一	私印盜用	一
官吏侮辱	一	官吏侮辱	一
借用物費消	一	借用物費消	一

三十九年	總計	諸法令規則違犯											法										
		醫師法施行規則	徵兵信令	電信法	決闘法	遺失物法	煙草專賣法	鐵道營業法	建造物毀壞	器物毀棄	印章破毀	封鎖妨害	往來妨害	贓物收受	囚徒ノ逃走ヲ覺ラヌ	囚徒逃走	恐喝取財	失火	強姦未遂	賭博			
常*	*					*					*			*									
一三二 一六五	三六六 一六六					一					二				四		二		六				
*																							
一九	一〇〇																		二				
三〇	五二																						
二五	一八																						
四五	五七																		二				
常*	*					*					*			*									
四三 一六六	六一 一六三					一			二		三			一	四	六	一	二	一〇				

刑																							罪狀	初度	二度	三度	四度	五度以上	合計
借用物費消	拐帶	官吏侮辱	私印盜用	私印偽造行使	行書盜用官文書偽造	取財官文書偽造行使詐欺	官文書偽造行使詐欺	委託品金費消	過失創傷	歐打致死	歐打創傷	詐欺取財	監守盜盜	竊盜	官印偽造	放火未遂	偽造紙幣行使	強盜											
四	二		二	二		三	七	六			三	一	一	四	二	二	五	六											
				四										〇		三													
											二			二		八													
六	三	一	一	五	一	四	九	九		五	二	六	一	二	九	二	五	四											

所屬		軍	人	軍	屬	禁獄	合計
		上長官	士官	准士官	下士官	判任官	判任待遇
佐世保監獄	鶴港務部						
舞海兵團	鶴水雷團						
舞海兵團	鶴水雷團						
舞海兵團	鶴水雷團						
舞海兵團	鶴水雷團						
砲術學監							
旅順鎮守府							
元旅順工作部							
朝香	取日						
韓崎							
高嶺							
八雲							
有明							
滿州							
沖島							
彌生							
春雨							

所屬		軍	人	軍	屬	禁獄	合計
		上長官	士官	准士官	下士官	判任官	判任待遇
初周宗鎮							
浪新霞							
重千							
東							
石富關							
如電略							
松阜扶							
神橋							
高響							
八壹							
山岐							
立穗							
風桑							
月江							
九月							
見士							

初春若朝子豐對姉明千千殿日磐出春常淺敷三	所
代	屬
雪風葉風日橋馬川石田歲島進手雲日磐間島笠	軍
	上長官
	士官
	准士官
	下士
	卒
	軍
	判任官
	判任待遇
	屬
	雇員備人
	禁獄
	合計
	二 一 一 三 二 四 二 六 七 二 一 四 一 六 六 五 六 三 七 六

不陽漣白東野白白夕白朝見鹿磐葛津須肥秋笠水初	所
知 津 無	屬
火炎 雲雲分雪妙立露露島島城城輕磨前洲置月春	軍
	上長官
	士官
	准士官
	下士
	卒
	軍
	判任官
	判任待遇
	屬
	雇員備人
	禁獄
	合計
	一 一 四 一 一 二 二 一 一 一 二 三 四 一 二 三 五 一 二 五 一 一

所轄	軍人	軍屬	常人	合計
上長官	士官	准士官	下士官	判任官
判任官	判任待遇	雇員備人		
吾妻進剛				
日金剛				
阿蘇剛				
丹後早				
夕風城				
赤城隊				
第3隊				
第4隊				
第6隊				
第7隊				
第8隊				
第9隊				
第10隊				
第11隊				
第12隊				
第13隊				
第14隊				
第15隊				
第16隊				
第17隊				
第18隊				
第19隊				
第20隊				
第21隊				
第22隊				
第23隊				
第24隊				
第25隊				
第26隊				
第27隊				
第28隊				
第29隊				
第30隊				
總計				

軍人軍屬懲罰處分人員 明治四十年

犯行目	廿九年		卅九年		計
	三十八年	三十九年	三十八年	三十九年	
擅ニ職役ヲ離レ若クハ勤務懈怠					
成規違反又ハ命令ヲ怠ル					
事件ヲ稽延ス					
服順ノ道ヲ失フ					
歸著ノ期ニ後ル					
言語行爲詐欺ニ涉ル					
暴行脅迫罵詈侮辱争鬪					
犯罪					
過失官文書器物毀損亡失					
官物濫用					
柵壁ヲ踰越ス					
將官					
上長官					
士官					
准士官					
判任文官					
下士官					
卒					
生徒					
雇員備人					
計					
卅九年					

犯行目	計	
	廿九年	卅九年
將官	1	1
上長官	9	17
士官	1	5
准士官	1	339
列任文官	1	1138
下士	1	6
卒	1	5
生徒	1	1521
雇員備人	1	1455
計	6	1455
卅九年	2	1455

酩酊事ヲ省セス
 軍人ノ態度ヲ失フ
 禮節式ニ違フ
 服裝違反又ハ成規外服用
 法令ニ違フ
 素行修マラス
 疎虞懈怠過失艦船毀損坐礁
 無允許渡附物品貸借
 濫リニ庖厨ニ入ル
 濫リニ艦船團隊ニ酒類ヲ入ル
 定所外飲食睡眠
 定所外吸煙又ハ用火
 受寄物典却
 定數服ヲ所持セス
 守兵ニ戯ル
 巡檢後故ナク寢所ヲ離ル
 職務權限ヲ侵シ又ハ誤ル
 文書調製、圖書計算ヲ誤ル
 兵器配置保存法ニ違フ
 生徒懲戒規則ニ該ル者
 四條五條十條ニ該ル者

被懲罰者官職及所轄別

總計	官		艦		船		計	
	將官	佐尉官及准士官	下士官	卒	生徒	雇員	備人	計
149	1	6	19	108	1	1	1	149
661	1	7	162	491	1	1	1	661
721	1	14	158	539	1	1	1	721
1521	1	27	339	1138	1	1	1	1521
1455	1	28	280	1138	1	1	1	1455

前表本年間懲罰人員總計千五百二十一
 人ニシテ之ヲ前年ニ比照スレハ六
 十六人ヲ増シ尙ホ平均人員ニ比例スレハ
 百人ニ付三〇六ニ當リ前年ニ比
 シ〇〇四ヲ減セリ中ニ就キ更ニ其犯項目
 ニ對スル人員ノ多キモノ數項ヲ
 摘録スレハ左ノ如シ

被懲罰者重ナル犯行

犯 行 官 廳 部 團 艦 船 計	捜査ニ職チ離レ又ハ勤 務チ缺キ若クハ懈ル 成規外ノ命令チ置テ爲 シ又ハ命令チ懈ル爲 歸著ノ期ニ後ル 言語行爲詐欺ニ渉ル 暴行 脇 迫 酩酊事ヲ省セス 軍人ノ態度ヲ失フ 禮節式ニ違フ 服裝式ニ違フ又ハ 成規外ノ服ヲ着スハ 法令ニ違フ 艦船毀損坐礁 柵壁踰越 素行 修ラス 過失官文書器物毀 損亡失及官物濫用 定所外ニテ飲食又ハ睡眠	五〇	四八四	四四二	九七六	九八一
	七 八	六 八 三	六 八 〇	一 四 四 一	一 三 八 二	一 三 八 二

上來列舉シタル所ニ就テ之ヲ觀レハ本年ニ於ケル犯罪者モ亦率ネ下士卒
ニシテ總數ノ九割七分九厘ヲ占ムル割合ナリ本年十二月三十一日現在ノ

下士卒總員ハ四萬二千十八人ニシテ前年末ノ總員ニ對比スレハ四千四百
九十四人ヲ増加シ隨テ其犯罪者モ前年ニ比シ百七十五人ヲ増セリ而シテ
總員ニ對スル割合ハ二分九厘ヲ増スノミ即チ既往十年ノ犯罪者比例ヲ對
照スレハ左ノ如シ

年次	下士卒年末總員	下士卒犯罪者總員	總員百ニ對スル犯罪
四十年	四二、〇一八	六〇六	一・四四
三十九年	三七、五二四	四三一	一・一五
三十八年	三五、九〇七	三二九	〇・九二
三十七年	三二、六四〇	二九六	〇・九一
三十六年	三〇、三三九	六五九	二・一七
三十五年	二九、八〇二	九〇一	三・〇二
三十四年	二七、八三八	五七二	二・〇五
三十三年	二五、一二五	五二八	二・一〇
三十二年	二一、八一五	四五六	二・〇九
三十一年	一八、三八三	四九六	二・七〇
平均	三〇、一三九	五二七	一・七四

前表ハ下士卒卒年末人員ニ對スル比例ナルヲ以テ是ヨリ更ニ下士卒平均人

員ニ對スル海軍刑法ト刑法トニ處セラレタル割合ヲ舉示スレハ左表ノ如シ

年次	均下總士卒人員		海軍刑法		刑法		總人員ニ對スル百分比
	均	下總士卒人員	均	海軍刑法	均	刑法	
平均	二八六二四	三〇六	三二五	二二五	二二五	二二五	一・八
三十一年	一八〇〇一	二六二	二二八	二二八	二二八	二二八	二・七
三十二年	一九六三二	二四七	二〇一	二〇一	二〇一	二〇一	二・三
三十三年	二二、一〇三	二四七	二二五	二二五	二二五	二二五	二・三
三十四年	二六、三七九	二九六	二四一	二四一	二四一	二四一	二・二
三十五年	二八、五三五	六四七	二四八	二四八	二四八	二四八	三・二
三十六年	三〇、〇四〇	三七九	二七二	二七二	二七二	二七二	二・二
三十七年	三一、六八五	一七六	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	〇・九
三十八年	三三、九三三	二〇六	一一一	一一一	一一一	一一一	一・〇
三十九年	三六、一二五	二二八	二〇七	二〇七	二〇七	二〇七	一・二
四十年	三八、八〇八	三〇七	二八九	二八九	二八九	二八九	一・五

刑法二種ニ對スル犯罪中ニ就キ犯者ノ最モ多キモノヲ摘録スレハ左ノ如シ

年次	逃亡	發艦ノ期ニ後ル	窃盜	毆打創傷	詐欺取財	其他	計
四十年	二二七	四五	一四三	一六	二九	一五六	六〇六

前表五種ノ犯罪數ニ就キ更ニ下士卒平均人員及犯罪者總員ニ對スル割合ヲ表示スレハ左ノ如シ

年次	逃亡百分數		發艦ノ期ニ後ル百分數		窃盜百分數		毆打創傷百分數		詐欺取財百分數		其他ノ犯罪百分數	
	均	下士卒平均人員ニ對シ	均	下士卒平均人員ニ對シ	均	下士卒平均人員ニ對シ	均	下士卒平均人員ニ對シ	均	下士卒平均人員ニ對シ	均	下士卒平均人員ニ對シ
平均	一九五	四八	一〇八	一九	二八	一一九	五二七	二二九	五二七	四三	四三	
三十一年	一一一	三三	一〇三	二二	二六	九一	四九	九一	四九	四九	四九	
三十二年	一七五	四八	九六	二八	一九	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	
三十三年	二二二	四七	一一二	二二	三三	三五	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	
三十四年	二二四	七八	一一一	二二	三六	四六	一一七	一一七	一一七	一一七	一一七	
三十五年	二四七	五二	一一一	二二	四一	四五〇	七五	七五	七五	七五	七五	
三十六年	二二〇	九三	五四	二二	四一	三五	三五	三五	三五	三五	三五	
三十七年	一五九	二九	七九	一九	一八	三五	三五	三五	三五	三五	三五	
三十八年	一四八	三〇	二八	一九	二九	八六	八六	八六	八六	八六	八六	
三十九年	一四八	三〇	二八	一九	二九	八六	八六	八六	八六	八六	八六	
四十年	一四八	三〇	二八	一九	二九	八六	八六	八六	八六	八六	八六	

年次	逃亡百分數		發覺ノ期ニ後ル百分數		窃盜百分數		殴打創傷百分數		詐欺取財百分數		其他ノ犯罪百分數	
	下士平均	犯罪者人員	下士平均	犯罪者人員	下士平均	犯罪者人員	下士平均	犯罪者人員	下士平均	犯罪者人員	下士平均	犯罪者人員
三十四年	〇・八三	三七・五九	〇・三〇	一三・六四	〇・四六	二二・一五	〇・〇八	三・六七	〇・一三	六・二二	〇・三九	一七八三
三十三年	〇・八一	四二・〇五	〇・二〇	八・九〇	〇・四九	二二・二二	〇・〇八	三・四一	〇・一七	七・二〇	〇・四二	一六七八
三十二年	〇・八九	三八・三八	〇・二四	一〇・五三	〇・四九	二二・〇五	〇・一四	六・一四	〇・〇九	四・二七	〇・四六	一八九五
三十一年	一・二三	四三・〇八	〇・一八	六・二四	〇・五七	二〇・〇八	〇・一三	四・五八	〇・一四	五・〇七	〇・五一	一七七四
平均	〇・七四	三八・〇〇	〇・一八	九・〇八	〇・四〇	二〇・一五	〇・〇七	三・六一	〇・一〇	五・一〇	〇・四七	二一七二

第十六 監獄

明治四十年五月省令第八號ヲ以テ海軍監獄則施行細則中ヲ改正セリ
 明治四十年ニ於ケル刑事被告人及囚人ノ出入ヲ概叙スルニ本年間刑事被告人ノ總數ハ五百六十四人ニシテ前年ニ對照スレハ八十五人ヲ増シ又本年新ニ入監シタル囚人ハ五百四十八人ニシテ前年ニ比シ百二十六人ヲ増セリ是レ行刑人員ノ増加ニ伴ヒタルモノナリ即チ其監獄ノ狀況並刑事被告人及囚人出入等ノ種別ハ左ノ諸表ニ舉示スルカ如シ

監獄官員及備

明治四十年十二月三十一日現員

官職	委任		判任		待遇	總計
	監獄長	監獄書記	監獄看守長	監獄看守		
橫須賀海軍監獄	一	一	一	一	一	二八
吳海軍監獄	一	一	一	一	一	二七
佐世保海軍監獄	一	一	一	一	一	二七
舞鶴海軍監獄	一	一	一	一	一	二三
旅順海軍監獄	一	一	一	一	一	一四
通計	五	五	五	五	五	一一九
雇員備人						三八

官職	三十八年	三十九年
橫須賀海軍監獄	二九	二八
吳海軍監獄	二七	二七
佐世保海軍監獄	二七	二六
舞鶴海軍監獄	二二	二〇
旅順海軍監獄	*	*
通計	一四	一八

(備考) 表中*ハ兼務ヲ示ス

明治四十年十二月三十一日調

所在地名	區別	監倉	禁錮室	内役場	病室	屏禁室	開室	計
東京市麴町區霞ヶ關	棟四客數	三	一	一	一	一	一	三
相模國三浦郡浦賀町	全	一	一	一	一	一	一	五
安藝國吳市和庄町	全	一	一	一	一	一	一	五
肥前國東彼杵郡佐世保	全	一	一	一	一	一	一	五
丹後國加佐郡餘部町字餘部下	全	一	一	一	一	一	一	五
旅順土屋町	全	一	一	一	一	一	一	五
總計	全	六	六	六	六	六	六	三六
三十八年	全	六	六	六	六	六	六	三六
三十九年	全	六	六	六	六	六	六	三六
三十八年	全	六	六	六	六	六	六	三六

未決監出入人員 明治四十分年

所在地	入	出	殘留人員
東京市麴町區霞ヶ關	一	一	一
相模國三浦郡浦賀町	一	一	一
安藝國吳市和庄町	一	一	一
肥前國東彼杵郡佐世保	一	一	一
丹後國加佐郡餘部町字餘部下	一	一	一
旅順土屋町	一	一	一
總計	六	六	六
三十八年	三三	三三	三三
三十九年	三三	三三	三三
三十八年	三三	三三	三三

已決監出入人員 明治四十分年

所在地	入	出	殘留人員
東京市麴町區霞ヶ關	五〇	二八	二二
相模國三浦郡浦賀町	五九	一四	四五
安藝國吳市和庄町	五九	一六	四三
肥前國東彼杵郡佐世保	五九	一七	四二
丹後國加佐郡餘部町字餘部下	一一	一	一〇
旅順土屋町	四	一	三
總計	二二二	七六	一四六
三十八年	二二二	七六	一四六
三十九年	二二二	七六	一四六
三十八年	二二二	七六	一四六

總計	囚徒費				管理費		區別
	雜費	護送費	被服費	糧食費	雜給及雜費	計	
一八二、三三三、九三七	一〇、二八三、八八七	七、九九九、九九〇	五、五〇〇、八八〇	三、四三三、九七七	七、九五〇、〇五〇	一、二六九、三二〇	橫須賀監獄
一四〇、五九八、五八五	六、八五五、三三九	六、五七三、三三九	二、三九四、八〇二	三、八〇二、六九八	七、二〇四、二四六	一、九八八、三五〇	吳監獄
一一、五五二、八六三	六、四二九、一五九	一、〇〇〇、〇〇〇	二、五二一、三〇〇	二、八一五、四九九	六、一三三、七〇四	一、二八〇、一三〇	佐世保監獄
八、六九三、三三四	二、一九〇、〇八二	三、九八六、九九〇	三、〇二〇、〇〇〇	一、二四二、四八二	六、四九四、二三三	一、八九一、四六二	舞鶴監獄
一一、四八八、七二一	一、九六五、三九〇	六、九三三、三二六	一、三五八、四四〇	六、四八七、七九〇	九、四九三、三三一	四、四〇八、六〇七	旅順監獄
六四、九九八、四二〇	二七、七三二、八五七	三、六四九、八四五	六、八九七、四〇〇	一、八〇三、〇九〇	三、七二五、五六三	二〇、八四七、八五九	通計

監獄費五箇年統計

年次	管理費				囚徒費	通計
	雜費	護送費	被服費	糧食費		
四十年	三七、二六五、五六三	二七、七三二、八五七	六四、九九八、四二〇	六〇、四四六、二七六	二七、七三二、八五七	一、二九五
三十九年	三三、八〇一、九〇八	二六、六四四、三六八	六〇、四四六、二七六	四五、五七三、三八一	二七、七三二、八五七	一、〇三三
三十八年	二五、三八五、〇六三	二〇、一八八、三一八	四五、五七三、三八一	四三、〇二四、五五八	二七、七三二、八五七	七九一
三十七年	二四、三六五、三七八	一八、六五九、一八〇	四五、五七三、三八一	四三、〇二四、五五八	二七、七三二、八五七	八六四
三十八年	二六、三〇四、七五五	二三、四一一、二二二	四五、五七三、三八一	四三、〇二四、五五八	二七、七三二、八五七	一、六四六
平均	二九、四二四、五三三	二三、三二七、三六九	四五、五七三、三八一	四三、〇二四、五五八	二七、七三二、八五七	一一、二二五

未決已決入監人員五箇年統計

年次	未決		已決		合計
	越人員	入監人員	越人員	入監人員	
四十年	三三	五〇二	一一三	五四八	一一九五
三十九年	三三	五〇二	一一三	五四八	一一九五
三十八年	一六	三二四	一一三	五四八	七三一
三十七年	七	四四七	一一三	五四八	一、〇三三
三十八年	一六	三二四	一一三	五四八	七九一
平均	三三	五〇二	一一三	五四八	一一九五

未決已決入監人員費用

區別	未決		已決		平均
	管理費	囚徒費	管理費	囚徒費	
四十年	二、八七六、七六六	二、二四一、五〇〇	二、八二〇、一〇一	一、五九八、一〇一	二、七五八、〇〇〇
三十九年	三、三二二、二二二	二、五七九、三三三	二、二五九、九六六	一、四二二、二二二	二、二七〇、〇〇〇
三十八年	三、三二二、二二二	二、五七九、三三三	二、二五九、九六六	一、四二二、二二二	二、二七〇、〇〇〇
三十七年	三、三二二、二二二	二、五七九、三三三	二、二五九、九六六	一、四二二、二二二	二、二七〇、〇〇〇
三十六年	三、三二二、二二二	二、五七九、三三三	二、二五九、九六六	一、四二二、二二二	二、二七〇、〇〇〇
平均	三、三二二、二二二	二、五七九、三三三	二、二五九、九六六	一、四二二、二二二	二、二七〇、〇〇〇

未決已決在監延人員

明治四十年

月別	東京監獄		橫須賀監獄		吳監獄		佐世保監獄		舞鶴監獄		旅順監獄		通計	
	未決	已決	未決	已決	未決	已決	未決	已決	未決	已決	未決	已決	未決	已決
一月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
二月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
三月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
四月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
五月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
六月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
七月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
八月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
九月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
十月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
十一月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
十二月	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
總計	120	1332	1100	1210	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100
一日二年平均人員	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
一年間入監現人員	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
一人二付平均日數	10	111	100	110	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

海軍省明治四十年年度年報終

明治四十二年五月八日印刷
明治四十二年五月十日發行

海軍大臣官房

印刷者 濱田傳三郎
東京市芝區櫻川町二十番地
印刷所 濱田活版所
東京市芝區櫻川町二十番地

